

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	名古屋ルーセントタワーオフィス部会 代表
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市西区牛島町6番1号
工場等の名称	名古屋ルーセントタワー
工場等の所在地	名古屋市西区牛島町6番1号
業種	不動産業、物品賃貸業
業務部門における 建築物の主たる用途	事務所
建築物の所有形態	賃貸ビル等（賃貸している建築物）
事業の概要	飲食、医療、事務所の複合用途
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

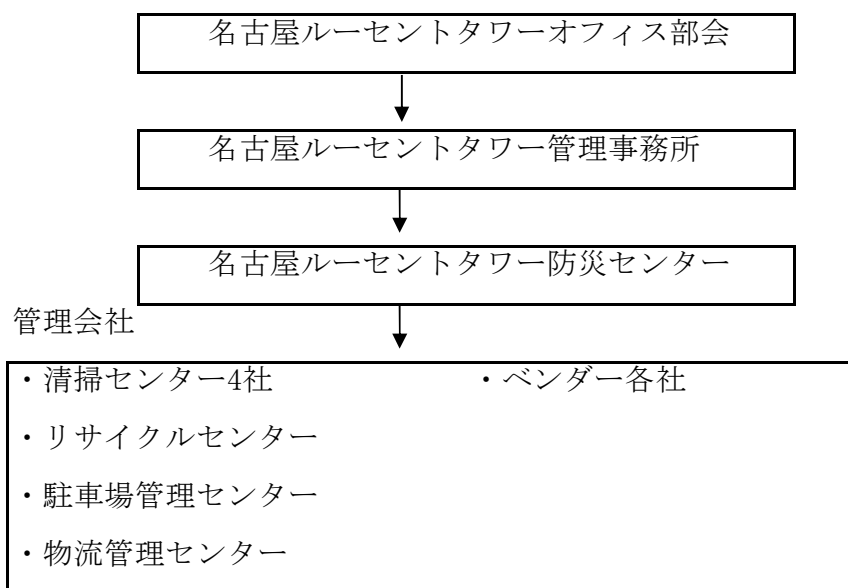
公表期間	令和6年4月1日 ～ 令和6年6月30日		
公表方法	○	揭示 閲覧	（場所）名古屋ルーセントタワー防災センター
		ホームページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-588-7788		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

●名古屋ルーセントタワーは、地球温暖化対策を始めとする地球環境保全の重要性を認識し事業活動のあらゆる分野を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。
省資源、省エネルギー活動の促進、廃棄物の分別リサイクルの推進、ビル内スタッフへの環境教育とテナントに対しての環境コミュニケーションの推進、省エネ法変更に伴い毎年の予算を計上し設備改修による省エネとCO2排出量の抑制を進めます。
テナント増減によるビル運用の変化に伴う㎡当たりのCO2量を把握する（数値による把握）。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		300	t-CO ₂
（温室①を酸効除炭ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	300	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
温室効果ガス総排出量		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂	
削減率（対 基準年度）				%		%		%	
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂	
削減率（対 基準年度）						%		%	

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
原単位あたりの排出量	0.0656	t-CO ₂ / m ²	0.06363	t-CO ₂ / m ²	0.002391	t-CO ₂ / m ²	0.002462	t-CO ₂ / m ²	
削減率（対 基準年度）			3.0	%	96.4	%	96.2	%	
原単位あたりのみなし排出量						t-CO ₂ / m ²		t-CO ₂ / m ²	
削減率（対 基準年度）						%		%	

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

事務所棟の空調機更新に伴う、APF値が改善された。 事務所棟の共用部照明のLED化の推進が図られた。 2022年度に比べ、2023年度の7～9月、3月の電気及びガス使用量が多かった為、エネルギーの使用量が昨年度よりも多くなった。夏季は平均外気温が高く、3月は平均外気温が低かった

備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考 3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考 4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー省資源の行動の実践、冷暖房	INV機器の最適周波数運転、非INV機器のINV化、熱源機器の無駄の削除、過剰フィルターの撤去による圧損の低減等を行う	空調動力・ガス使用量とも10%削減する。	フィルターの交換スケジュールの適正・見直しによる省エネを推進する 空調機を高効率型に更新した。 熱源設備の制御を改善し、冬季のガス使用量削減を計画する。
省エネルギー省資源の行動の実践・照明	誘導灯、各共用部照明器具を随時LEDに交換していく。 夏季は節電対策として共用部の間接照明を消灯。 過剰照明設備については、間引き運用を常態化する。	機器更新計画をたてLEDに随時交換する。	共用部照明器具をLEDに変更した。
省エネルギー省資源の行動の実践・給湯	トイレ手洗いの給湯器の電源は夏季は切る	6～11月まで停止	実施中
省エネルギー省資源の行動の実践・廃棄物	リサイクルセンターにて廃棄物の分別再利用を進める。	最低限現状を維持し継続実施。	実施中
省エネルギー省資源の行動の実践・電力	夏季のデマンド管理等を含めてピークカットを行っていく。	力率100%を維持し無効電力を減らすとともに、負荷の平準化に努める。	実施中
ELV節電対応	低層用2台 中層用2台 高層用2台 14:00～16:00まで停止	電気使用量低減	実施中
駐車場棟2～7F車路照明省エネ	2F～7F車路照明昼間間引き実施	電気使用量低減	実施中
事務所棟共用部分・専有部分	高効率ビルマルチの更新予定	電気使用量低減	APF値の大きい機器への更新切換

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目（令和 5 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

ライトダウンキャンペーンへの参加 CO2フリー電気購入に切替

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--